

平成 30 年(2018 年)12 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書(1 日目)

平成 30 年 12 月 7 日(金)

割当時間(答弁を除く) { ニ ラ イ 45 分
日 本 共 産 党 35 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	金 城 眞 徳 (ニ ラ イ)	市長選の総括 について	(1) 市長選の勝因について 今選挙の投票率は 48.19%、投票率の低さ にもかかわらず大差をもって当選した勝因 はどこにあったか伺う (2) 2 期目に向けての抱負 今回の選挙で市長は「人材こそ全てに共 通する財産である」と人材育成が肝心だとお っしゃった。その想いと風格ある県都那覇市 を創り上げていく 2 期目に向けた抱負を伺う (3) 玉城康裕県政との連携について 民意を踏みにじる政府の理不尽さを感じ る。厳しい県政に取り組む玉城知事と城間市 長はどのような連携をとって市政運営にあ たるのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

代表質問（1日目） 平成30年12月7日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	翁長雄治 (ニライ)	<p>1 子育て行政について</p> <p>2 水道行政について</p>	<p>(1) こども医療費無料化について以下伺う</p> <p>① 現況とこれまでの変遷について</p> <p>② 今後、対象年齢を何歳まで引き上げるのか、またそれはどの様な段階を踏んでいく予定なのか</p> <p>(2) 幼児教育・保育無償化について、本市における見解を伺う</p> <p>(3) 2歳児歯科健診及び妊婦歯科健診について、これまでの変遷と今後の見通しを伺う</p> <p>(4) 放課後児童クラブの防災対策について現状を伺う</p> <p>(1) 全国的にも老朽化した水道管が、災害時のみならず平時にも破裂するなどの被害が出ている。本市の水道行政について以下伺う</p> <p>① これまでに老朽化が原因での破損があったかどうか伺う</p> <p>② 更新時期に来ているが、まだ更新できていない水道管がどの程度あるのか伺う</p> <p>(2) 現在国会で審議が行われている水道法改正案について本市の見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 平成30年12月7日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	平良 識子 (ニライ)	那覇市長選挙の公約について	<p>去る10月21日に執行された那覇市長選挙における城間幹子市長の選挙公約について、以下伺う</p> <p>(1) 新文化芸術発信拠点施設の整備事業について 「県都である特性を活かした本市の新たな文化の殿堂、沖縄の伝統文化の発信拠点となる新文化芸術発信拠点施設の2020年度末の完成を目指します」について、事業の進捗状況について</p> <p>(2) アーケード再整備の支援について 「中心商店街において、適法かつ合意形成がなされたアーケードの再整備の支援制度を創設します」について、どのように取り組んでいくか</p> <p>(3) 第一牧志公設市場の再整備事業について 仮設市場の移転および新市場の供用開始までのスケジュールと影響等について</p> <p>(4) LRT等の導入について 「真和志地域の交通移動手段としての利便性を高めるため、次世代型軌道系交通システムLRT等の導入について、検討を進めていきます」について、どのように取り組んでいくか</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 平成30年12月7日(金)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	多和田 栄子 (ニライ)	<p>1 県民投票の意義について</p> <p>2 辺野古海城への土砂投入について</p> <p>3 子ども行政について</p>	<p>名護市辺野古の新基地建設に必要な埋め立ての賛否を問う県民投票が2月14日告示、24日投票の日程で実施されることが決まった。埋め立てに賛成か反対かを明確に示す大切な機会であり、沖縄の尊厳がかかっているとも言われている。県民投票を実施する意義について、市長の見解を伺う</p> <p>名護市辺野古への新基地建設を巡り、来週14日にも土砂投入による埋め立て開始が報道されている。しかも、自治体の許可が要らない民間の栈橋を使うという目的外使用の工事強行である。許されることではない。市長の見解を伺う</p> <p>(1) 待機児童対策と待機児童数の推移について 城間市長が選挙期間中、市民に約束されていたこと、兄弟そろって同じ保育園に入れること、保育を必要とする子どもをいつでも預けることのできるシステム作りを市民は大いに期待している。これまでの待機児童対策と待機児童数の推移を伺う</p> <p>(2) 待機児童の解消を図るためには、保育士の確保が重要である。保育士確保の取り組み状況を伺う</p> <p>(3) 放課後児童クラブの整備について 放課後児童クラブの需要が伸びているが、これまでの小学校内への児童クラブの設置状況を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		4 那覇市こども発達支援センター条例について	<p>事業概要として、「日常生活の基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等、必要な支援を行うこと」とある。以下何う</p> <p>これまでの療育センターからこども発達支援センターに移行することで、提供するサービスはどのように変わるのか何う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 平成30年12月7日（金）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	我如古 一郎 (日本共産党)	<p>1 政治姿勢について</p> <p>2 県知事選挙の結果と辺野古新基地問題について</p>	<p>(1) 10月21日執行の市長選挙で、オール沖縄・城間幹子市長は、7万9,677票を獲得し、自民・公明・維新の候補に3万7千票余の大差で再選を果たした。圧勝した選挙結果と2期目の市政運営の決意を伺う</p> <p>(2) オール沖縄・城間市長の圧勝は、1期目の実績が高く評価されたと共に、うちなーんちゅの誇りと尊厳にかけ、新基地を絶対に造らせないと命がけでがんばりぬいた翁長前知事の不屈の遺志を受け継ぎ、新基地反対を明確に掲げた政治姿勢と選挙公約が市民の圧倒的支持を得たことにある。見解を問う</p> <p>(1) 名護市辺野古の米軍新基地建設問題が最大の争点となった9月30日執行の県知事選では、急逝した翁長知事の遺志を継ぎ、新基地反対を掲げた玉城デニー氏が、安倍政権が全面支援した自民・公明・維新の候補に圧勝した。知事選史上で最多得票の39万6,632票を獲得し、約8万票もの大差をつけた玉城デニー氏の歴史的勝利は、「辺野古新基地ノー」が沖縄県民の揺るがぬ意思であることを改めて明瞭に示した。安倍自公政権は、この選挙結果・民意を尊重し、新基地建設の企てを直ちに中止すべきである。見解を問う</p> <p>(2) 沖縄県が名護市辺野古での米軍新基地建設に必要な埋め立て承認を撤回したことについて、防衛省と国土交通省が行政不服審査法を使ってその効力を停止し、工事の再開を強行している。この無法な工事を防衛・国交両省が人事面でも一体となって推進する体制を取っていたことが、日本共産党の赤嶺政賢衆議院議員の国会質問でも明らかになっている</p> <p>玉城デニー知事は、埋め立て承認の撤回の効力を停止した、石井国土交通大臣の決定を、「違法な国の関与」と主張し、総務省所管の国地方係争処理委員会に、①固有の資格で埋め立て承認撤回処分を受けた沖縄防衛局は、私人の利益救済を趣旨とする、行政不服審査法に基</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>づく石井国交大臣への執行停止の申し立てができず、石井国交大臣の執行停止は違法である。②埋め立てを推進する同じ内閣の一員である石井国交大臣が判断することは審査庁の地位を著しく乱用している。として審査を申し入れた</p> <p>安倍自公政権の行政不服審査法の乱用はいよいよ明白である。承認撤回の執行停止は直ちに取り消すべきである。見解を問う</p> <p>(3) 安倍自公政権は、名護市辺野古の米軍新基地建設に伴う埋め立て土砂の投入開始を14日に行うと発表し、作業を開始したが、県の違法との指摘も無視して、作業を強行している。土砂投入は、県知事選で8万票の大差で玉城デニー知事を圧勝させた民意を一顧だにせず、国家権力で襲いかかる許しがたい蛮行で、およそ民主主義国家の政府のやることではない。県民投票に向けて新基地建設中止の機運が高まるのを恐れてなりふり構わず土砂投入をする。安倍自公政権は、県民を諦めさせることのみをこの間繰り返してきたが、まさに県民を愚弄する卑劣な企てといわなければならない。沖縄の民意と国内外の世論に追い込まれているのは安倍自公政権である。問答無用に力づくで民意を押しつぶすようなやり方は、沖縄では通用しない。見解を問う</p> <p>(4) 政府・防衛省がどんなに基地建設を強行しようとしても、軟弱地盤問題・サンゴ移植・活断層の存在など、今後、工事を進めるためには、埋め立ての設計変更申請が必要であり、知事の認可なしには、埋め立ては進められない。新基地反対の公約を貫く玉城デニー知事がいる限り、新基地建設はできない。沖縄県民は日米政府の策動を打ち破り必ず勝利する。見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 普天間基地の5年以内運用停止について</p> <p>4 県民投票について</p> <p>5 日米地位協定について</p>	<p>普天間飛行場の5年以内の運用停止については、2013年12月に閣議決定され、安倍首相が普天間飛行場負担軽減推進会議において、「できることはすべて行う」と述べるなど、仲井真元知事に約束したもので、政府に履行義務がある</p> <p>県議会は、2017年に「米軍普天間飛行場の運用停止の実現を求める意見書」を全会一致で決議している。普天間基地の危険性を除去するためにも、安倍自公政権は、「話しくわっちー」ではなく、2019年2月の5年以内の運用の停止の期限を守るべきである。見解を問う</p> <p>「米軍普天間飛行場の移設に伴う、辺野古の埋め立ての賛否を問う」県民投票が2月24日実施される。見解を問う</p> <p>1960年、新安保条約のもとで締結された不平等な日米地位協定は、それ以後、一度も改定されていない</p> <p>沖縄県の調査報告書(3月)によると、NATO(北大西洋条約機構)加盟のドイツやイタリアでは「自国の法律や規則を米軍にも適用させることで自国の主権を確立させ、米軍の活動をコントロール」している。日米地位協定では、米軍に国内法が原則適用されず、日米で合意した飛行制限も守られないなど到底主権国家とは言えない内容となっている</p> <p>安倍自公政権の河野外相は、わが党の追及に対し、「NATO加盟国間の相互防衛の義務を負っている国と、それと異なる義務を負っている日本の中で地位協定が異なることは当然にあり得る」と答弁し、在日米軍に特権を与えている屈辱的な日米地位協定の中身を当然とする、驚くべき見解を表明した。日本の主権を侵害し、在日米軍に国際的にも異常な特権を与えている日米地位協定は、抜本的に改定すべきである。見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		8 消費税 10%増税について	<p>(3) 加入者の平均所得と一人当たり保険税、負担率、均等割税額、滞納世帯数、短期証世帯数、職業構成を問う</p> <p>(4) 国保県単位化の現状と今後の方針を問う</p> <p>安倍自公政権は、来年10月からの消費税10%増税をめざしている。いま、消費税増税路線、大企業優遇の「アベノミクス」で、格差と貧困は拡大する一方である。「アベノミクス」の失政は、経済と財政に深刻な影響を与えている</p> <p>このことを反省し、今こそ、税金の集め方、使い方を切りかえる時である。</p> <p>「社会保障や財政再建のため」と国民を欺き、所得の少ない人ほど負担が重い消費税増税ではなく、巨額の富を蓄えている大富豪や大企業に応分の負担を求める税制に見直すべきである。大軍拡や大型開発中心の予算にメスを入れ、税金は社会保障、若者、子育て支援などに優先して使うべきである。</p> <p>消費税増税は、全国一所得の低い沖縄に破滅的な影響を及ぼし、全国的にも格差と貧困が拡大するだけであり、中止すべきである。そこで、消費税10%増税による、市民への影響を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 平成30年12月7日(金)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	前田 千尋 (日本共産党)	<p>1 子ども医療費無償化の拡充について</p> <p>2 那覇市こども発達支援センターについて</p> <p>3 認定こども園の充実について</p> <p>4 放課後児童クラブの充実について</p>	<p>(1) 城間市長は、選挙公約において「子育て世代の医療費負担の軽減を図るため、窓口負担の無い現物給付方式によるこども医療費の無償化を現在の就学前から中学3年生まで拡充します。」と謳っている。公約実現にむけた市長の決意を問う</p> <p>(2) 医療費の無償化を中学3年生まで拡充した場合の概算について問う</p> <p>(1) 本市の子どもの発達障がい現状と、新たに制定する「那覇市こども発達支援センター条例」の目的と意義について問う</p> <p>(2) 条例の目的と意義、発達障がい児と発達の気になる児が増えている現状からして、対応する専門職の人員を増やすことが求められている。取り組みを問う</p> <p>(1) 認定こども園の役割について問う</p> <p>(2) 認定こども園の特徴を問う</p> <p>(3) 36 小学校に隣接する認定こども園の3歳児受け入れの現状と課題について問う</p> <p>(1) 放課後児童クラブ(学童保育)の役割について問う</p> <p>(2) これまで行ってきた施策と課題について問う</p> <p>(3) 本市の放課後児童クラブの防災対策の現状について問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>5 学校施設におけるクーラー設置について</p> <p>6 那覇市新文化芸術発信拠点施設整備事業（新市民会館）について</p>	<p>(1) 小中学校のクーラーの役割と現状について問う</p> <p>(2) 学校の体育館の役割について問う</p> <p>沖縄の伝統文化の継承・発展及び新たな文化芸術を創造・発信する新文化芸術発信拠点施設の早期建設を訴えた城間幹子市長が、市長選挙で圧勝した。12月3日には、那覇市新文化芸術発信拠点施設建設工事が着工した。那覇市文化協会、社会福祉協議会、身体障害者福祉協会や多くの市民・県民から、一日も早い完成が強く待ち望まれている。見解を問う</p>
			<p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>